

上八万産廃処分場の「自主調査」にカンパのお願い

このままに置いて大丈夫??

園瀬川流域の上八万町にある産廃処分場は16年間も放置されたまま、突然閉鎖されようとしています。この処分場は、安定型の産廃処分場ですが、量の問題でも、埋められている「物体」の問題にしても、とてもこのまま閉鎖してしまっていていいとはいえません。

違法投棄は明らかです。私たちは、産廃処分場の廃止にあたって、県に徹底的な調査を求めています。

私たちの会は2~3メートルの深さの穴を掘り、周辺の水調査をしました。そこから有害な物質が出てきました。しかし、県は「生活環境保全上の問題は見当たらない」とくわしい調査をしようとしません。



今なら間に合う

もっとくわしく、もっと正確に汚染の実態を知るためには、谷底だった岩盤の深さ40mまで届くボーリング調査が必要です。調査方法も専門家の先生の協力を得て確立されています。

産廃処分場の正確な実態・汚染状況がわかれば、どのようにすればいいのか、いろいろな方法や手段で汚染物を取り除いたり、軽減したり、消去したり解決の方法が考えられます。

しかし、知事をはじめとする県当局は「生活環境保全上の支障はない」と繰り返すばかりで、動こうとしません。何かが（被害が）おきるのを待っているのでしょうか。

自主調査を実施します!! 一処分場本体のボーリング調査一

園瀬川流域に被害が表面化するのはいつでしょうか?ずっと先なのか、今なのか。もうすでに深く静かに始まっているのか、私たちは不安を抱えてじっと県の対応を待っているわけにはいきません。

私たちは、本来ならば不法投棄を行なった事業者や事態を見過ごしてきた県がすべきボーリング調査をあえて実施し、知事を始めとする県当局に安全対策を強く求めようと考えています。

調査には多額の費用がかかります!! ご支援をよろしくお願いします!!



全国の産廃ボーリングにくわしい専門家の試算では1本にかかる費用は(3万円/m×深さ)、それに検査費用がプラスされます。産廃問題には専門家の助言が不可欠であり弁護士等費用・機器のレンタル・検体の検査・会報・郵送代等々すべて自己資金でまかなわなければなりません。

調査活動の資金として目標額を200万円とし、ボーリング実施予定の2月末日を期限と決めました。広く世論に呼びかけ輪を広げていくためにも、あなたからぜひ周囲の方にもお声をかけて頂けますようあわせてお願いいたします。(資料同封) 2007年1月



園瀬川流域環境保全の会

カンパの振込先〔口座番号〕	01680-1-74882
〔口座名称〕	園瀬川流域環境保全の会

連絡先

〔専用携帯〕080-1992-6483

〔郵便〕〒770-8041

しらさぎ台郵便局止「園瀬川流域環境保全の会」宛